

津波・沿岸防災へ



発行所
 (株)日本設備工業新聞社
 東京都渋谷区桜丘町10-13
 〒150-0031 野元第1ビル
 電話 (03) 3496-4774
 FAX (03) 3464-1884
 info@setubikogyo.co.jp
 年額8,800円(税込送料込)



濱口梧陵国際賞で大臣表彰

水環境の研究機関や建設関係団体などつくる国際津波・沿岸防災技術啓発事業組織委員会は十一月二十九日、東京・千代田区平河町海運クラブで二〇二一年「濱口梧陵国際賞」(国土交通大臣賞)の授賞式を開催した。齊藤鉄夫国交相、二階俊博衆院議員らが出席し、津波・高潮・洪水などの防災・減災に多大な貢献を果たした国内外の功労者・団体を表彰し、記念講演会などを繰り広げた。決意も新たに沿岸防災対策技術の一層の普及啓発に努めていく。

対策技術の普及啓発を決意

濱口梧陵は紀伊国河内郡広川町の出身で郵政大臣に相当する駅頭頭や初代和歌山県議会議長などを務めた。安政元年(一八五四年)に大地震が発生し、大津波が津波を襲ったとき梧陵は稲束を積み重ねた稲むらに火を放って村人を誘導し、安全な場所に避難させた。その後も被災者用の



高野会長



齊藤国交相



二階衆院議員



海運クラブで授賞式

小屋の建設や防波堤の築造などに取り組み、津波による被害を最小限に抑えたといわれている。濱口梧陵国際賞は日本の津波防災の日である十一月五日が二〇一五年の国連総会で「世界津波の日」に制定されたことを受けて国際津波・沿岸防災技術啓発事業組織委員会(会長・高野誠紀国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所長)が二〇一六年に創設。沿岸防災対策の国際的な普及促進

を世界に認識してもらうことが重要だ。国民の防災意識を高め、ハードとソフトが一体となった取り組みを進めるうえで本賞の意義は一段と高まっている」と激励を込めてあいさつした。

来賓祝辞では和歌山県出身の二階衆院議員が「津波防災の重要性を一人でも多くの方に知ってもらいたい思いで国政に尽力してきた。本年も授賞式を盛大に開催できたことを皆さまに深く感謝する。梧陵先生の尊い精神を受け継いで真剣に取り組み続けていくことをお誓い申し上げる」と述べ、同郷の偉人の遺志を引き継ぐ決意を示した。

このあと受賞者の松富英夫秋田大学名誉教授・中央大学研究開発機構客員教授、ギリシャのGeorassimos A. Pappadopoulos国際自然災害防止・軽減学会会長、アメリカの太平洋津波博物館に表彰状を贈り、記念講演が行われた。

授賞式では高野会長が冒頭あいさつに立ち「本賞は沿岸防災に顕著な功績のあった個人・団体を称え、広く世界にその重要性を周知することを目的としている。委員長の河田先生をはじめ選考にあたりご尽力いただいた皆さまにお礼を申し上げる。さらに本賞の認知度を高め、沿岸防災の普及へつなげていきたい」と意欲を示した。

続いて齊藤国交相が「多くの関係者の方々のご協力に感謝するとともに、受賞された皆さまの長年にわたる活動と多大な功績に深く敬意を表す。十年前に東日本大震災が発生し、津波が広範囲にわたって甚大な被害をもたらした。この恐ろしさを教訓に事前の備えが必要不可欠であること

を世界に認識してもらうことが重要だ。国民の防災意識を高め、ハードとソフトが一体となった取り組みを進めるうえで本賞の意義は一段と高まっている」と激励を込めてあいさつした。

来賓祝辞では和歌山県出身の二階衆院議員が「津波防災の重要性を一人でも多くの方に知ってもらいたい思いで国政に尽力してきた。本年も授賞式を盛大に開催できたことを皆さまに深く感謝する。梧陵先生の尊い精神を受け継いで真剣に取り組み続けていくことをお誓い申し上げる」と述べ、同郷の偉人の遺志を引き継ぐ決意を示した。

このあと受賞者の松富英夫秋田大学名誉教授・中央大学研究開発機構客員教授、ギリシャのGeorassimos A. Pappadopoulos国際自然災害防止・軽減学会会長、アメリカの太平洋津波博物館に表彰状を贈り、記念講演が行われた。

改正フロン法の取り組み評価

産構審 中環審 業務用冷凍空調で報告書案

産業構造審議会製造産業分科会化学物質政策小委員会(委員長・齋藤潔早稲田大学基幹理工学部教授)と中央環境審議会地球環境部会フロン類等対策小委員会(委員長・中根英昭高知工科大学名誉教



齋藤座長



中根委員長

授)の第十一回合同会議が十一月二十九日、オンラインで開催された。業務用冷凍空調機器のフロン漏洩対策を抜本的に強化する改正フロン法が施行されて五年経過したこと

から具体的な取り組み状況や施策について評価する報告書案をまとめた。業務用冷凍空調機器の廃棄時と同程度のフロン漏洩が使用中にも発生したため、平成二十五年にフロン回収・破壊法が改正され、同二十七年四月一日から施行された。新たにフロン排出抑制法と名称を変更し、機器の製造・使用・廃棄に至るま

でライフサイクル全体にわたる包括的な対策が盛り込まれた。

今回の報告書案では改正の目的としてフロン使用製品のノンフロン・低温暖化、機器使用時に低漏洩防止、充填・回収・再生行為の適正化などを指摘。また法改正以降の施策の動向として地球温暖化対策計画・長期戦略の改定や二〇五〇

年カーボンニュートラルに向けた取り組みなどに言及した。

改正項目の施行状況ではガスメーカーや機器・製品メーカーによる取り組み、機器ユーザーの冷媒管理、充填回収業者による適切な充填、破壊・再生業者による適切な処理、地方からの権限委譲の提案などを厳密に評価している。

創業から70年を超えて

「変化していく未来に
いつも我々の役割がある」



1947

国内100カ所を超える営業拠点



プロ職人向け店舗「プロストック」



地域に寄り添う住まいの総合商社として、これからも安心と信頼を守り続けます。



グループ拠点を結ぶ物流網



お客様向け発注管理システム「K-Mobile」

人・街・未来へ

住宅設備の総合商社
株式会社 小泉

KOIZUMI GROUP — (株)小泉・本社 / (株)小泉東北 / (株)小泉中央 / (株)小泉多摩 / (株)小泉東関東 / (株)小泉北関東 / (株)小泉中部 / (株)小泉神奈川 / (株)小泉相模 / (株)小泉東海 / プロストック / (株)ジャパンエコロジー / 総合電材(株) / (株)住建 / いすみテクノス(株) / (株)リフォームプラザ小泉 / (株)素箱 / (株)クリンテック小泉 / 小泉商事(株) / ハナカントリー・イン / ユーイングトラベルサービス / 小泉長坂上海貿易有限公司 / 南通小泉機電有限公司 / 小泉コリア / 小泉ベトナムトレーディング / 小泉ジャーマニー

本社 〒167-8555 東京都杉並区荻窪4-32-5 TEL: 03-3393-2511(代) HP: www.koizumig.co.jp